

「神の信頼に 応えて生きる」

ルカの福音書19章11-27節

1

人々がこれらのことばに耳を傾けていたとき、イエスは続けて一つのたとえを話された。イエスがエルサレムの近くに来ていて、人々が神の国がすぐに現れると思っていたからである。イエスはこう言われた。「ある身分の高い人が遠い国に行った。王位を授かって戻って来るためであった。彼はしもべを十人呼んで、彼らに十ミナを与え、『私が帰って来るまで、これで商売をなさい』と言った。一方、その国の人々は彼を憎んでいたので、彼の後に使者を送り、『この人が私たちの王になるのを、私たちは望んでいません』と伝えた。 ルカ19:11-14

2

さて、彼は王位を授かって帰って来ると、金を与えておいたしもべたちを呼び出すように命じた。彼らがどんな商売をしたかを知ろうと思ったのである。最初のしもべが進み出て言った。『ご主人様、あなた様の一ミナで十ミナをもうけました。』主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。おまえはほんの小さなことにも忠実だったから、十の町を支配する者になりなさい。』二番目のしもべが来て言った。『ご主人様、あなた様の一ミナで五ミナをもうけました。』主人は彼にも言った『おまえも五つの町を治めなさい。』

19:15-19

3

また別のしもべが来て言った。『ご主人様、ご覧ください。あなた様の一ミナがございます。私は布に包んで、しまっておきました。あなた様は預けなかったものを取り立て、蒔かなかったものを刈り取られる厳しい方ですから、怖かったのです。』主人はそのしもべに言った。『悪いしもべだ。私はおまえのことばによって、おまえをさばこう。おまえは、私が厳しい人間で、預けなかったものを取り立て、蒔かなかったものを刈り取ると、分かっていたというのか。それなら、どうして私の金を銀行に預けておかなかったのか。そうしておけば、私が帰って来たとき、それを利息と一緒に受け取れたのに。』 19:20-23

4

そして、そばに立っていた者たちに言った。『その一ミナをこの者から取り上げて、十ミナ持っている者に与えなさい。』すると彼らは、『ご主人様、あの人はすでに十ミナ持っています』と言った。彼は言った。『おまえたちに言うが、だれでも持っている者はさらに与えられ、持っていない者からは、持っている物までも取り上げられるのだ。またさらに私が王になるのを望まなかったあの敵どもは、ここに連れて来て、私の目の前で打ち殺せ。』 ルカ19:24-27

5

信仰と商売

- 聖書で使われている商売用語
- 名義変更の表現、「父、子、聖霊の名において(名に入る)彼らにバプテスマを授け」
- 「贖い」(あがない)
- 「負い目」(負債)

6

信仰は現実的

- 「人はみな草のよう。その栄えはみな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは永遠に立つ」とあるからです。これが、あなたがたに福音として宣べ伝えられたことばです。1ペテロ1:24-25
- すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく世から出るものだからです。世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。1ヨハネ2:16-17

7

信仰は現実的で確かなもの

- 今の世で富んでいる人たちに命じなさい。高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、**私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置き**、善を行い立派な行いに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。1テモテ6:17-19

8

神を宗教にしてしまう

- ルカ12章「愚かな金持ちのたとえ」命は財産にあるのではない。宝のある所に心がある。
- 14章 弟子となるための計算
- 16章 抜け目のない管理人、金持ちとラザロのたとえ「地獄の多沙汰も金次第」ではない
- 18-19章 金持ちが救われることの難しさ、ザアカイという金持ちの救い
- お金と生活は切り離せない、信仰と生活も切り離せない！

9

神の信頼に応える

- 小さいことに忠実であれ ルカ16:10
- 「よくやった。良いしもべだ。おまえはほんの小さなことに忠実だったから、十の町を支配する者になりなさい。」 ルカ19:17、マタイ25:21,23
- 「あなた様の1ミナで(私は)10ミナをもうけました。」 (新改訳、新共同訳、口語訳)
- 「主よ、**なんじの一ミナは10ミナをもうけたり。**」 (文語訳)

10

神の信頼に応える

- 教会は競争より協力、協力して助け合う教会は魅力的。
- 教会が愛し合う姿を見て、世は神を知る。ヨハネ13:35、17:23
- 神よりも自分に従う。(罪の根源)
- 神に仕えるのではなく、神を使う。
- 「あなたの国があなたのために何ができるかではなく、あなたがあなたの国のために何ができるか考えてほしい。」 J.F.ケネディ

11

神の信頼に応える

- 自由、恵み、救いには責任が伴う。
- 人間は神から地球の管理を任せられた。
- 人間は管理人よりも、オーナーになりたいがる。
- イスラエルの失敗。目に見える王を求めた。
- 今は一人一人が「王」、「女王」になっている。
- 神の国に入るためには、自分の国を降伏させる。
- **天国行きの前に天国生き(天国＝神の国)**

12

神の信頼に応える

- 「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」 マタイ28:18-20
- 「弟子にしなさい」が命令
- 行って＝行きながら、生きながら。
- 伝道するよりも、伝道的な人になる。自然な伝道
- 自分の賜物を生かした伝道、自由な、創造的な伝道